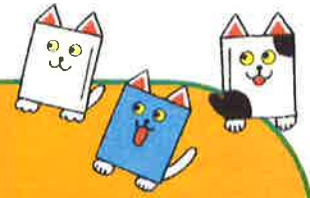


宮前図書館や杉並の図書館について、どう思いますか？



☆本がとても多かった。中高生が読める本がもっとあるといいと思った。

☆本がすごくキレイにならべられていたが空気がすこしわるかったので、もう少しかんきしてほしい。

☆とても落ちついていて読書ができる空間だと思った。

☆本を自由に借りられるから、良いと思います。また静かな場所なので勉強したりもできるところが良いと思います。

☆自分が思ったより本が多かった。見た目がきれいだと思いました。でも中学生が読むような本は少しすくなかったかなという印象を受けました。

☆本が沢山ある館とない館がある。

おすすめの本を教えてください！



『きみの友達』 重松清/著 新潮社  
主人公が変わる短編集なのですが、それぞれの主人公が共通の人物に元気づけられている様子が好きです。

『今日から俺は!!』 西森博之/著 小学館  
ドラマにもなり、すごくおもしろいから。

『デュラララ!!』 成田良悟/著 KADOKAWA  
ラノベだが、文章体がしたしみやすく読みやすい。

『また、同じ夢を見ていた』 住野よる/著 双葉社  
主人公の女の子が人に出会うことで色々なことを考えるという物語です。だから、それと一緒に自分の行動や人生について考えさせられる話だからです。

『かがみの孤城』 辻村深月/著 ポプラ社  
中学生が主人公の話なのでとても共感しやすいですし、伏線もはられていて最後まで読んだときは、「なるほど！」という納得とよくできているなあと思いました。ファンタジーもふくまれているので少し現実ばなれしている感じがして、ワクワク感を感じました。

『晴れた日は図書館へ行こう』 緑川聖司/著 ポプラ社  
本好きの子がでてきて、図書館で起きたじけんを解決する話。その中で知り合いができたり、成長しているのが、一年間を通して見られる。ファンタジーだけど現実感があってうらやましくもなって、楽しめる本。